

臨地実習（成人看護学）

[実習] 通年 選択 180時間 4単位

《担当者名》神田直樹 [kanda@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

複雑な疾患を抱えた慢性病者を受け持ち、地域の資源を活用し慢性病者・家族のセルフケア能力を高め、ウェルビーイングやQOLに資する支援を計画・提供する。また、慢性病者・家族の支援に関する看護スタッフの相談にのることをとおして、教育、相談、倫理調整について、実践的に学ぶ。

【学修目標】

1. 慢性病者・家族を総合的、全体的にアセスメントし、慢性病者・家族がセルフケア能力を高め健康問題に取り組めるように支援する。
2. 人的・物的資源の活用と多職種協働により継続的支援ができるように、調整を図ることができる。
3. 慢性病者・家族の支援に関する看護スタッフの相談にのり、看護スタッフ自身が適切な支援を計画、実施できるよう働きかける。
4. 医療現場でおこる倫理的問題に気づき、適切な倫理的判断、倫理調整ができる基礎的な力を身につける。
5. 実習全体をとおして、慢性看護の課題を整理、検討できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習課題1 総合的、全体的アセスメントに基づく実践	1) 複雑な問題を抱える慢性病者・家族を総合的、全体的にアセスメントする。 2) 慢性病者との目標共有により、セルフケア能力を高める支援を計画、実践する。	神田
	実習課題2 多職種協働による継続的な支援のための調整	1) 地域で活用できる人的・物的資源のアセスメントをする。 2) 多職種協働による継続的支援が提供できるよう調整する。	神田
	実習課題3 慢性病者の支援に関する看護スタッフなどからの相談の引き受け	1) 看護スタッフからの相談内容の整理を支援する。 2) 看護スタッフ自らが問題解決できるよう支援する。	神田
	実習課題4 医療や看護実践に関わる倫理的問題の特定と調整	1) 受け持った慢性病者について、倫理的問題がないか、倫理4分割表を用いてアセスメントする。 2) 倫理的問題が生じているときは、アセスメントに基づき調整する。	神田
	実習課題5 慢性看護の課題の整理と検討	現場における慢性看護の現状から課題を整理、検討する。	神田
	【実習方法】	病院、外来、地域など慢性病者が療養するさまざまな場に出向き、実習指導者や指導教員によるスーパービジョンを受けながら、複雑な問題を抱えた慢性病者を受け持ち、地域の資源を活用し慢性病者・家族のウェルビーイングやQOLに資する支援を計画、提供する。 なお、慢性病者・家族の支援に関するスタッフナースの相談にのることをとおして、教育、相談、調整、倫理調整について実践的に学ぶ。	
	【実習場所】	学生のサブスペシャリティ領域、実習課題、実習計画を考慮して、適切な場所を学生と相談し決定するが、病院、外来、地域、在宅など慢性病者が療養するさまざまな場を経験できるように計画する。	
	【実習期間】	4～5週間。ただし、課題達成状況により延長する。 集中実習が分散実習化は、学生の実習課題や学習状況により相談・決定する。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表50%、実践・教育・相談・調整・倫理調整についてのレポート50%。

【教科書】

実習要項を参照のこと。

【参考書】

随時提示する。

【学修の準備】

高度実践看護師の役割を担う上での自己の課題を明確にして実習に臨むこと。